

令和4年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-04-01			
施設名	ゆいの森あらかわ					
所在地	荒川区荒川二丁目50番1号					
部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
			国・都	区債	一般財源	
	建築	23~28年度	6,655,091	831,606	3,817,000	2,006,485
	増改築①					
増改築②						
併設施設						
竣工年月日	平成29年1月31日		区職員	その他		
供用開始年月日	平成29年3月26日		職員数	84	19	
構造	鉄筋コンクリート造		階層	地上5階・地下1階		
面積	敷地面積		4,111 m ²			
	延床面積		10,944 m ²			
設置目的・経緯	利用者が自ら学び体験し、人と人が交流できる地域の文化やコミュニケーションの拠点づくりを推進する。					
関連部署	地域図書館課					
根拠法令等 設置条例	荒川区立ゆいの森あらかわ条例					
駐車場の状況	12台	バリアフリー	● エレベーター	● トイレ		
駐輪場の状況	370台	対応状況	● 点字ブロック	● スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで	
事業内容	(1) ゆいの森あらかわ事務管理・運営に関する事業 (2) ゆいの森あらかわ子どもひろば運営等に関する事業 (3) 吉村昭記念文学館推進事業 (4) 中央図書館運営事業					
対象者	区民等					
運営時間等	運営時間	午前9時30分～午後8時30分				
	休日	毎月第3木曜日、特別整理日、年末年始 他				
施設基本データ等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)
	来館者数	707,295	697,418	355,860	510,961	
	利用登録者数	26,378	28,740	27,507	31,994	
	所蔵資料数(点)	394,326	402,779	413,563	419,233	
	貸出利用者数(人)	200,345	191,372	151,414	182,970	
	貸出資料数(点)	764,510	727,666	608,091	738,031	
	開館日数(日)	339	337	289	335	
	イベント開催数(回)	493	513	321	350	
に指定 に係る 等管理 費用						
備考	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年4月8日～5月29日まで臨時休館					

III 財務諸表

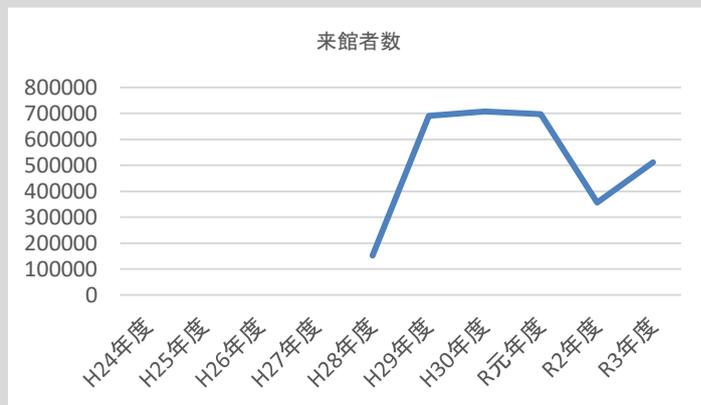
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	
	行政費用	給与関係費	359,664	378,217	18,553	地方税等	0	0	0
	物件費	295,874	363,575	67,701	国庫支出金	3,946	3,840	▲ 106	
	維持補修費	3,999	4,055	56	都支出金	2,482	2,711	229	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	2,282	3,317	1,035	使用料及び手数料	2,867	4,536	1,669	
	減価償却費	256,184	255,443	▲ 741	その他	3,613	7,679	4,066	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	12,908	18,766	5,858	
	賞与・退職給与引当金繰入額	40,289	8,775	▲ 31,514	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 945,384	▲ 994,616	▲ 49,232	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 9,061	▲ 8,499	562	
	行政費用合計(b)	958,292	1,013,382	55,090	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 954,445	▲ 1,003,115	▲ 48,670	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 954,445	▲ 1,003,115	▲ 48,670	
貸借対照表	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	272,179	267,800	▲ 4,379
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	258,466	259,025	559
	固定資産	有形固定資産	7,136,119	6,880,662	▲ 255,457	賞与引当金	13,713	8,775	▲ 4,938
		土地	1,622,139	1,622,139	0	その他の流動負債	0	0	0
		建物	6,431,429	6,431,429	0	固定負債	2,461,669	2,199,826	▲ 261,843
		建物減価償却累計額	▲ 969,165	▲ 1,211,500	▲ 242,335	特別区債	2,362,822	2,103,796	▲ 259,026
		工作物等	74,811	63,760	▲ 11,051	退職給与引当金	98,847	96,030	▲ 2,817
		工作物等減価償却累計額	▲ 23,095	▲ 25,167	▲ 2,072	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	175	143	▲ 32	負債の部合計	2,733,848	2,467,626	▲ 266,222	
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	4,454,954	4,457,643	2,689	
	その他の固定資産	52,508	44,464	▲ 8,044	正味財産の部合計	4,454,954	4,457,643	2,689	
	資産の部合計	7,188,802	6,925,269	▲ 263,533	負債及び正味財産の部合計	7,188,802	6,925,269	▲ 263,533	
備考	行政費用では、給与関係費及び図書館オンラインシステムの更改に伴う導入費用等の物件費(委託料)が増加している。行政収入では、地下駐車場使用料、カフェ・自動販売機の貸付料(使用料及び手数料)や乳幼児一時預かり利用料、指定寄附金(その他)が増加している。								

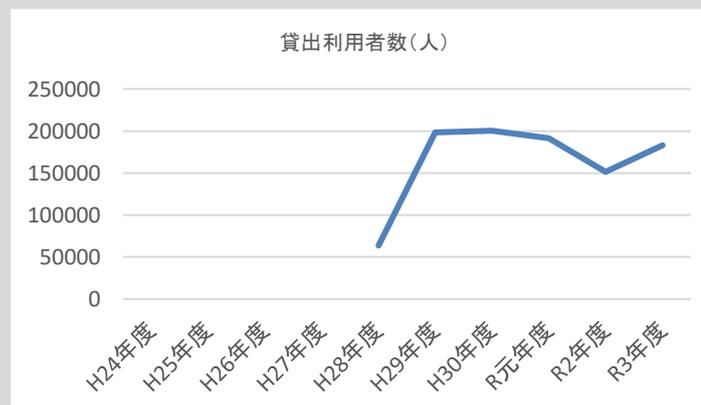
指標		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	8	11	15	19.0	
	1㎡当たりコスト(円)	85,433	85,584	87,565	92,599	
	人にかかるコストの割合(%)	37	37	42	38.2	
	蔵書回転数(貸出冊数/蔵書数)	2	2	1	2	
	貸出1冊当たりコスト	1,223	1,287	1,576	1,373	
	開館1日当たりコスト(円)	2,757,982	2,779,252	3,315,889	3,025,021	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,322	1,343	2,693	1,983	
備考	前年度と比較して、1㎡当たりコストが5,034円増加し、開館1日当たりのコストが290,868円、利用者1人当たりのコストが710円減少している。これは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため制限していた利用サービスの一部を緩和したことに伴い、行政費用や利用者数が増加したためである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	入館者数	目標値 600,000	721,000			580,000
		実績値 707,295	697,418	355,860	510,961	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	子どもから大人あらゆるまで世代に利用され、知の情報発信基地、地域コミュニティの中核施設としての役割を担っており、必要性は高い。					
現状・課題	○安全で安心して滞在できる快適な施設となるよう、「おもてなしの心」をもったサービスの提供や利用者の視点に立った環境の整備をさらに行っていくとともに、新型コロナウイルス感染拡大の防止を図り安全な施設運営を行っていく必要がある。 ○いつ来ても新しい発見や変化を感じられる魅力ある施設となるよう、「読書を愛するまち・あらかわ」宣言を踏まえた各種事業、イベント等を継続的に実施していく必要がある。 ○区民に身近で愛される施設となるよう、ゆいの森の運営をサポートするボランティアの育成を図っていく必要がある。 ○施設の計画的な修繕の実施や予防保全の観点から施設の中長期的な修繕計画を検討することにより、施設の長寿命化を図る必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○職員の待遇のさらなる向上のための研修等の実施、利用者にとって分かりやすい館内サインのさらなる充実、安全・安心な施設利用のための感染症拡大防止対策の実施 ○イベント、企画展示等の計画的な実施、他部署や関係機関、地域団体等多種多様な団体との連携 ○各種ボランティア講座の開催、ボランティアの活動の場の提供、各種ボランティア団体の交流・連携 ○施設の定期点検等を通じた計画的な修繕を実施、予防保全の観点から施設の修繕計画の検討					
議会、利用者等からの意見	H29 6月会議 ・福井県立文学館や、他自治体との交流・連携について H30 6月会議 ・明治維新百五十周年の企画展(彰義隊)について R02 文教子育て ・絵本館のサインの充実について R02 文教子育て ・本との出会いのきっかけとなる取組について					



来館者数が令和2年度に減少しているのは、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため臨時休館やサービスの一部を停止としたためである。



貸出利用者数が令和2年度に減少しているのは、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため臨時休館やサービスの一部を停止としたためである。